

# 野村世界業種別投資シリーズ (世界ヘルスケア株投資)

## 運用報告書(全体版)

第11期(決算日2020年6月29日)

作成対象期間(2019年6月29日~2020年6月29日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/株式
信託期間	2009年8月27日から2024年6月28日までです。
運用方針	世界各国のヘルスケア関連企業の株式を主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行うことを基本とします。株式への投資にあたっては、定量分析により銘柄群の絞込みを行った後、各国の医療制度・技術の進展動向等を考慮しつつ、成長性、利益構造、財務内容などの観点からファンダメンタルズ分析を行い、組入銘柄を決定します。また、個別銘柄評価とポートフォリオ全体のリスク特性などを総合的に勘案し、ポートフォリオを構築します。外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	世界各国のヘルスケア関連企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

## 野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104  
(受付時間) 営業日の午前9時~午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	基準 価 額			ベンチマーク		株組 入比率	株式 先物比率	純資 産額
		税 分	込 配	み 金	期 騰	落 率			
	円		円		%	%	%	%	百万円
7期(2016年6月28日)	19,602		610		△25.8	△26.8	98.1	—	1,024
8期(2017年6月28日)	23,642		720		24.3	28.7	97.9	—	1,421
9期(2018年6月28日)	22,582		670		△1.6	1.8	99.3	—	1,641
10期(2019年6月28日)	23,924		730		9.2	7.4	99.0	—	1,300
11期(2020年6月29日)	25,132		800		8.4	13.0	95.0	—	832

\* 基準価額の騰落率は分配金込み。

\* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\*ベンチマーク（＝MSCI All Country World Health Care（税引後配当込み・円換算ベース））は、MSCI All Country World Health Care（税引後配当込み・ドルベース）をもとに、当社が独自に円換算したものです。  
 \*MSCI All Country World Health Care（税引後配当込み・ドルベース）は、MSCIが開発した指数で、同指数の著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。  
 (出所) MSCI、ブルームバーグ

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

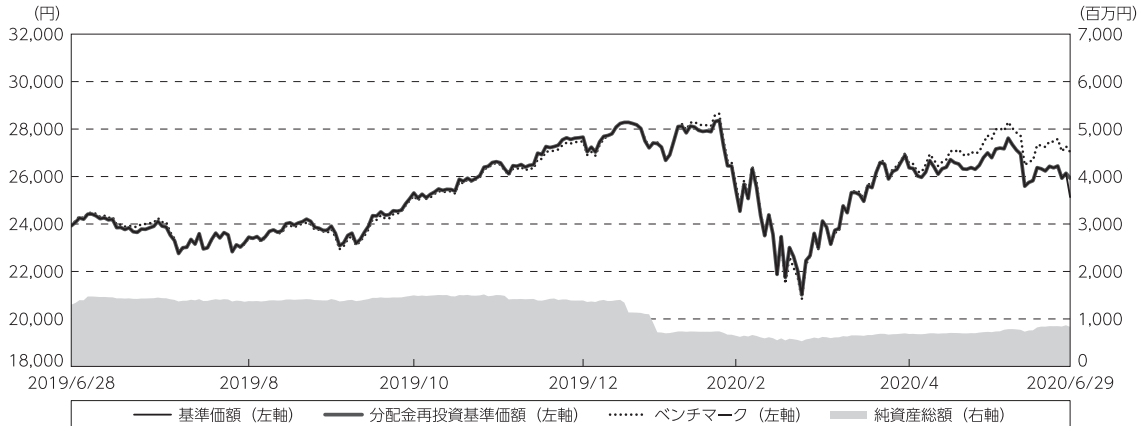
年 月 日	基準	基準 価 額		ベンチマーク		株組 入比率	株式 先物比率
		騰 落	率	騰 落	率		
(期首)	円		%		%	%	%
2019年6月28日	23,924		—		—	99.0	—
7月末	23,911		△0.1		0.7	98.9	—
8月末	23,446		△2.0		△2.2	98.6	—
9月末	23,731		△0.8		△1.3	98.7	—
10月末	25,308		5.8		5.3	97.9	—
11月末	26,626		11.3		11.1	98.2	—
12月末	27,660		15.6		14.9	98.3	—
2020年1月末	27,239		13.9		13.9	97.5	—
2月末	25,444		6.4		7.4	99.0	—
3月末	24,126		0.8		0.9	95.6	—
4月末	26,367		10.2		11.0	95.4	—
5月末	26,796		12.0		14.6	94.7	—
(期末)							
2020年6月29日	25,932		8.4		13.0	95.0	—

\* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

\* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



期 首：23,924円

期 末：25,132円 (既払分配金(税込み)：800円)

騰落率： 8.4% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2019年6月28日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) ベンチマークは、MSCI All Country World Health Care (税引後配当込み・円換算ベース)です。ベンチマークは、作成期首(2019年6月28日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

- (下落) トランプ米大統領による対中追加関税の発動表明などを受けて米中貿易摩擦の激化が懸念されたこと、2019年9月の米ISM製造業景気指数が市場予想に反して一段と低下したことなどから米景気の先行きへの懸念が強まったこと
- (上昇) 大手製薬企業の良い7-9月期決算が好感されたこと、製薬企業によるバイオテクノロジー企業の買収が好感されたこと、米中が貿易協議の「第1段階」の合意に達し、世界景気の先行き不透明感がやや後退したこと、中国政府の経済対策への期待や米企業業績の底堅さが好感されたこと
- (下落) 新型コロナウイルスの世界的な感染拡大への懸念から投資家のリスク回避姿勢が強まったこと、OPEC(石油輸出国機構)とロシアなど非加盟産油国の減産交渉決裂を受け原油価格が急落したこと、為替市場で円高が進行したこと

（上昇）欧米の一部地域で経済活動の段階的な再開の動きが広がったこと、市場予想を上回る一部大手製薬企業の1－3月期決算が発表されたこと、新型コロナウイルスに対する治療薬やワクチン及び抗体検査機器などの開発進展が好感されたこと

## ○投資環境

当期の世界のヘルスケア株は、2019年8月上旬、トランプ米大統領による対中追加関税の発動表明などを受けて米中貿易摩擦の激化が懸念され、下落して始まりましたが、FRB（米連邦準備制度理事会）による利下げ決定や金融緩和への柔軟な姿勢が好感され反発しました。その後は、9月の米ISM製造業景気指数が市場予想に反して一段と低下したことなどから米景気の先行きへの懸念が強まり下落しましたが、米中貿易協議進展への期待が高まったことや、大手製薬企業の良好な7－9月期決算、製薬企業によるバイオテクノロジー企業買収のニュースなどが好感され再び上昇しました。

12月以降は、米中が貿易協議の「第1段階」の合意に達したことや、米年末商戦の小売売上高が堅調だったことなどを背景に続伸しましたが、2020年1月下旬には中国での新型コロナウイルス感染拡大が嫌気され下落に転じました。2月中旬には、中国政府の経済対策への期待や米企業業績の底堅さなどに支えられ、主要株価指数は史上最高値を一時更新しましたが、下旬に入ると、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大への懸念から投資家のリスク回避姿勢が強まる中、下落基調で推移しました。

3月に入ってから、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大や、OPECとロシアなど非加盟産油国の減産交渉決裂を受けた原油価格の急落を背景に大幅に下落しました。4月に入ると欧米の一部地域で経済活動の段階的な再開の動きが広がったことや、市場予想を上回る一部大手製薬企業の1－3月期決算発表、新型コロナウイルスに対する治療薬やワクチン及び抗体検査機器などの開発進展などが好感され反発しました。期末にかけては感染再拡大への警戒感や米国の一部の州での活動再規制の動きなどから下落したものの、当期において、世界のヘルスケア株は上昇しました。

為替市場では、期初、米中貿易協議進展への期待や堅調な米経済指標を受け米ドル高・円安基調で推移しました。2020年2月下旬から3月上旬にかけては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を背景に投資家のリスク回避姿勢が強まったことや、FRBの緊急利下げにより日米の金利差が縮小したことで、米ドル安・円高が急速に進行しました。3月中旬には、世界経済の先行き見通しが不透明な中、米ドルの需要の高まりから主要通貨に対して米ドル高が進行しました。その後、期末にかけては、米ドル需給の緩和を背景に米ドル安が進行し、期を通じては若干の米ドル安・円高となりました。

## ○当ファンドのポートフォリオ

### ・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

### ・期中の主な動き

- (1) 地域・国別配分では、米国、デンマークなどをオーバーウェイト（ベンチマークに比べ高めの投資比率）とし、日本、オーストラリアなどをアンダーウェイト（ベンチマークに比べ低めの投資比率）としました。
- (2) 業種別配分では、医薬品、ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービスなどをオーバーウェイトとし、ヘルスケア機器・用品、ヘルスケア・テクノロジーなどをアンダーウェイトとしました。
- (3) 個別銘柄では、ジョンソン・エンド・ジョンソン（米国）、ユナイテッドヘルス・グループ（米国）、メルク（米国）などを上位に組み入れました。
- (4) 為替につきましては、ヘッジ（為替の売り予約）は行ないませんでした。

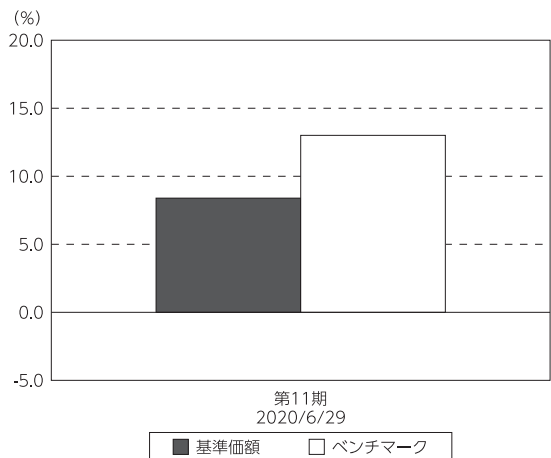
## ○当ファンドのベンチマークとの差異

ベンチマーク（MSCI All Country World Health Care（税引後配当込み・円換算ベース））が13.0%の上昇となったのに対して、基準価額は8.4%の上昇となりました。

### （主なプラス要因）

- ①地域・国別配分で、株価騰落率がベンチマークを下回ったカナダなどをアンダーウェイトとしたこと
- ②業種別配分で、株価騰落率がベンチマークを下回ったヘルスケア機器・用品をアンダーウェイトとしたこと
- ③個別銘柄で、株価騰落率がベンチマークを上回ったアムジェン（米国）などをオーバーウェイトとしたことや、株価騰落率がベンチマークを下回ったボストン・サイエンティフィック（米国）などをアンダーウェイトとしたこと

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) ベンチマークは、MSCI All Country World Health Care（税引後配当込み・円換算ベース）です。

**(主なマイナス要因)**

- ①地域・国別配分で、株価騰落率がベンチマークを上回った日本や中国などをアンダーウェイトとしたこと
- ②業種別配分で、株価騰落率がベンチマークを上回ったヘルスケア・テクノロジーなどをアンダーウェイトとしたこと
- ③個別銘柄で、株価騰落率がベンチマークを下回ったウォーターズ（米国）などをオーバーウェイトとしたこと

**◎分配金**

今期の収益分配金については、基準価額水準等を勘案し、1万口当たり800円とさせていただきます。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。

**○分配原資の内訳**

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第11期
	2019年6月29日～ 2020年6月29日
当期分配金	800
(対基準価額比率)	3.085%
当期の収益	800
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	15,131

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ◎今後の運用方針

### ・投資環境

- (1) 米国経済は、段階的に経済活動の再開が進められたことから6月のISM製造業景気指数が景気の拡大・縮小の境目とされる50を4ヵ月ぶりに上回るなど底打ちし、年後半にはプラス成長に回復すると見込まれます。ただ、足元では新型コロナウイルスの感染再拡大の兆しに加え、11月の大統領選挙や米中関係など先行き不透明感がなお強い状況です。FRBはゼロ金利政策を維持しつつ、必要に応じて追加的な金融緩和を行ない、経済を支えるものと見られます。
- (2) 欧州経済は、新型コロナウイルスの感染拡大を防止する制限措置が緩和される中、底を打ち、年後半には緩やかに回復すると見られます。もっとも、一部で感染再拡大の兆しが見受けられ、先行きは予断を許さない状況です。こうした中、先月資産買い取り枠の拡大を決めたECB（欧州中央銀行）は金融緩和を堅持すると見込まれます。また、EU（欧州連合）の議長国となったドイツが全加盟国からの同意を得て欧州復興基金の設立を実現できるかどうか注目されます。

### ・運用方針

- (1) 当ファンドはボトムアップアプローチを重視し、成長性・利益構造・財務内容などの観点から、グローバルにヘルスケア市場をリードしていくことができる企業群に投資します。ポートフォリオ構築にあたっては、地域・国別配分、業種別配分ともに市場の時価総額構成比を意識した配分を行ない、世界のヘルスケア株市場全体の動きを反映したリターンの獲得を目指します。
- (2) 業種別配分では、業界再編とコスト削減により収益性の拡大が期待できるヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービスのオーバーウェイトを維持する方針です。一方、バリュエーション（投資価値評価）に割高感のあるヘルスケア機器・用品などのアンダーウェイトを維持する考えです。
- (3) 銘柄選択においては、今後の新薬開発の動向や薬価の見通し、業界内でのM&A（企業の合併・買収）、米国大統領選に絡むヘルスケア政策の方向性などに注意したうえで、バリュエーションが割安な銘柄への投資を重視していく方針です。

今後とも、引き続きご愛顧を賜りますよう、よろしく願いいたします。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年6月29日～2020年6月29日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	円 420 (200) (200) ( 20)	% 1.655 (0.789) (0.789) (0.077)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率  ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等  購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等  ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	6 ( 6)	0.025 (0.025)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	4 ( 4)	0.017 (0.017)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( 監 査 費 用 ) ( そ の 他 )	21 ( 20) ( 1) ( 0)	0.084 (0.080) (0.003) (0.001)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数  保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用  監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用  信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	451	1.781	
期中の平均基準価額は、25,381円です。			

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

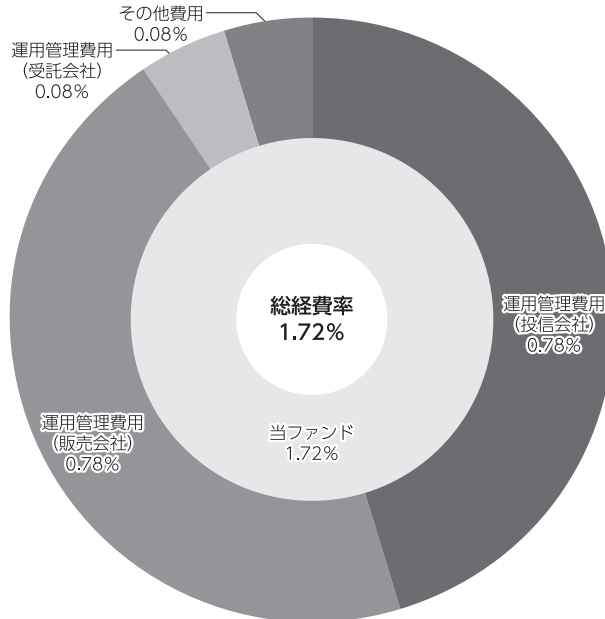
\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。



## （参考情報）

### ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.72%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2019年6月29日～2020年6月29日)

## 株式

国	内	買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
	上場	千株 3 (0.8)	千円 11,523 ( )	千株 9	千円 34,925
外	アメリカ	百株 193	千米ドル 1,975	百株 569	千米ドル 6,485
	イギリス	98	千英ポンド 225	59	千英ポンド 220
	スイス	15	千スイスフラン 220	46	千スイスフラン 841
国	デンマーク	11	千デンマーククローネ 423	72	千デンマーククローネ 2,789
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	21	93	42	245
	フランス	6	56	16	149

\*金額は受け渡し代金。

\*単位未満は切り捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

\*( )内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○株式売買比率

(2019年6月29日～2020年6月29日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	1,264,791千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,065,537千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.18

\* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年6月29日～2020年6月29日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2020年6月29日現在)

## 国内株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
		千株	千株	千円
医薬品 (100.0%)				
武田薬品工業		2.2	1.5	5,823
アステラス製薬		3.7	2.1	3,808
中外製薬		1.3	1.2	6,985
参天製薬		5.8	2.6	5,296
合 計	株 数 ・ 金 額	13	7	21,912
	銘 柄 数 < 比 率 >	4	4	< 2.6% >

\*各銘柄の業種分類は、期首、期末の各時点での分類に基づいています。

\*銘柄欄の( )内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

\*評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

\*評価額の単位未満は切り捨て。

## 外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額	評 価 額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
ABBOTT LABORATORIES	47	30	274	29,424	ヘルスケア機器・用品
ABBVIE INC	46	23	230	24,669	バイオテック/ロジック
ALEXION PHARMACEUTICALS INC	3	—	—	—	バイオテック/ロジック
ALIGN TECHNOLOGY INC	2	—	—	—	ヘルスケア機器・用品
AMERISOURCEBERGEN CORP	9	—	—	—	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス
AMGEN INC	27	15	371	39,826	バイオテック/ロジック
ANTHEM INC	5	2	51	5,483	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス
BECTON, DICKINSON	12	9	210	22,543	ヘルスケア機器・用品
BIOMARIN PHARMACEUTICAL INC	10	6	74	7,979	バイオテック/ロジック
BIOGEN INC	5	3	90	9,708	バイオテック/ロジック
BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	68	55	316	33,944	医薬品
CIGNA CORP	24	12	230	24,727	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス
CVS HEALTH CORP	52	32	203	21,774	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス
CELGENE CORP	12	—	—	—	バイオテック/ロジック
DANAHER CORP	17	13	223	23,938	ヘルスケア機器・用品
DAVITA INC	—	15	113	12,154	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス
GILEAD SCIENCES INC	64	29	216	23,190	バイオテック/ロジック
HUMANA INC	5	—	—	—	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス
ILLUMINA INC	3	3	108	11,584	ライフサイエンス・ツール/サービス
JOHNSON & JOHNSON	75	36	497	53,366	医薬品
ELI LILLY & CO.	19	14	227	24,446	医薬品
MERCK & CO INC	83	48	363	38,970	医薬品
PFIZER INC	128	85	274	29,456	医薬品

## 野村世界業種別投資シリーズ（世界ヘルスケア株投資）

銘柄	株数	株数	期末		業種等	
			評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
STRYKER CORP	17	9	156	16,770	ヘルスケア機器・用品	
TEVA PHARMACEUTICAL-SP ADR	27	—	—	—	医薬品	
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	10	6	210	22,581	ライフサイエンス・ツール/サービス	
UNITEDHEALTH GROUP INC	27	16	482	51,777	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	
WATERS CORP	16	6	104	11,244	ライフサイエンス・ツール/サービス	
ZIMMER BIOMET HOLDINGS INC	14	12	138	14,854	ヘルスケア機器・用品	
ALLERGAN PLC	2	—	—	—	医薬品	
MEDTRONIC PLC	54	29	257	27,607	ヘルスケア機器・用品	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	889 30	513 24	5,427 —	582,025 <69.9%>	
(イギリス)			千英ポンド			
GLAXOSMITHKLINE PLC	67	116	192	25,436	医薬品	
ASTRAZENECA PLC	36	26	225	29,888	医薬品	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	103 2	143 2	417 —	55,324 <6.6%>	
(スイス)			千スイスフラン			
NOVARTIS AG-REG	33	25	212	24,034	医薬品	
ROCHE HOLDING (GENUSSCHEINE)	26	10	353	39,961	医薬品	
ALCON INC	6	—	—	—	ヘルスケア機器・用品	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	66 3	36 2	565 —	63,996 <7.7%>	
(デンマーク)			千デンマーククローネ			
NOVO NORDISK A/S-B	92	31	1,364	22,042	医薬品	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	92 1	31 1	1,364 —	22,042 <2.6%>	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
FRESENIUS SE & CO KGAA	44	41	182	22,019	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	
BAYER AG-REG	17	—	—	—	医薬品	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	62 2	41 1	182 —	22,019 <2.6%>	
(ユーロ…フランス)						
SANOFI	31	21	199	24,060	医薬品	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	31 1	21 1	199 —	24,060 <2.9%>	
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	94 3	63 2	382 —	46,080 <5.5%>	
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,246 39	787 31	— —	769,470 <92.4%>	

\* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\* 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

\* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

\* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

## ○投資信託財産の構成

(2020年6月29日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	791,382	90.1
コール・ローン等、その他	87,060	9.9
投資信託財産総額	878,442	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*当期末における外貨建て純資産（770,624千円）の投資信託財産総額（878,442千円）に対する比率は87.7%です。

\*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=107.24円、1英ポンド=132.43円、1スイスフラン=113.15円、1デンマーククローネ=16.15円、1ユーロ=120.38円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年6月29日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	878,442,215
コール・ローン等	86,018,834
株式(評価額)	791,382,863
未収配当金	1,040,518
(B) 負債	45,714,084
未払金	10,603,795
未払収益分配金	26,507,410
未払解約金	2,069,280
未払信託報酬	6,520,534
未払利息	80
その他未払費用	12,985
(C) 純資産総額(A-B)	832,728,131
元本	331,342,637
次期繰越損益金	501,385,494
(D) 受益権総口数	331,342,637口
1万口当たり基準価額(C/D)	25,132円

(注) 期首元本額は543,438,771円、期中追加設定元本額は189,151,811円、期中一部解約元本額は401,247,945円、1口当たり純資産額は2,5132円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額4,413,660円。

## ○損益の状況 (2019年6月29日～2020年6月29日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	13,178,938
受取配当金	13,131,863
受取利息	53,813
支払利息	△ 6,738
(B) 有価証券売買損益	49,315,320
売買益	149,592,602
売買損	△100,277,282
(C) 信託報酬等	△ 19,236,474
(D) 当期損益金(A+B+C)	43,257,784
(E) 前期繰越損益金	8,419,646
(F) 追加信託差損益金	476,215,474
(配当等相当額)	( 155,225,642)
(売買損益相当額)	( 320,989,832)
(G) 計(D+E+F)	527,892,904
(H) 収益分配金	△ 26,507,410
次期繰越損益金(G+H)	501,385,494
追加信託差損益金	476,215,474
(配当等相当額)	( 155,225,642)
(売買損益相当額)	( 320,989,832)
分配準備積立金	25,170,020

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注）分配金の計算過程（2019年6月29日～2020年6月29日）は以下の通りです。

項 目	当 期
	2019年6月29日～ 2020年6月29日
a. 配当等収益(経費控除後)	9,121,966円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	34,135,818円
c. 信託約款に定める収益調整金	476,215,474円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	8,419,646円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	527,892,904円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	15,931円
g. 分配金	26,507,410円
h. 分配金(1万口当たり)	800円

## ○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	800円
----------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

## ○お知らせ

該当事項はございません。

## 「野村世界業種別投資シリーズ」(マネープール・ファンドを除く)の お申し込み時の留意点

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日(以下「申込不可日」といいます。)があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようよろしくお願いいたします。

(2020年6月29日現在)

年 月	日
2020年6月	-
7月	3
8月	31
9月	7
10月	-
11月	26
12月	25、28

※2020年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご注意ください。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ (<http://www.nomura-am.co.jp/>) にも掲載いたしております。

「当ファンドの運用の一部を委託されている米国の投資顧問会社(米国投資顧問会社)は、米国の証券関連法令(「米国法」)の適用を受けています。当該米国投資顧問会社は、米国法を遵守するという限定的な目的で、Arthur F. Bell, Jr. & Associates, L.L.C. (「アーサー・ベル社」)を、当ファンドの受益者の「独立した代理人」に任命しました。アーサー・ベル社はCohen & Company (「コーヘン社」)と合併したため、コーヘン社が当ファンドの独立した代理人として従事します。コーヘン社は、「独立した代理人」として、米国法で定められている口座明細書やその他の必要な通知を、当ファンドの受益者に代わって当ファンドの受託銀行または保管銀行から受け取ります。コーヘン社が「独立した代理人」としての地位を失うのは、(1)同社が辞任したとき、(2)同社の退任を当ファンドの受益者が承諾したとき、または(3)同社の解任が受益者にとって最善の利益になると独立の第三者が判断したときのみです。コーヘン社が「独立した代理人」に任命されることによって、受益者のみなさまが現在受け取っている当ファンドに関する運用報告書の内容、お知らせ、その他の情報に何ら影響が及ぶものではありません。」